

- 1 主 題 <A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志>
2 資 料 名 「七宝の里 梶常吉」 出典：「七宝の里 梶常吉」(明るい人生)編
「ミステリーはぼくの夢」(あいち人物館)編

3 本時の指導

(1) ねらい

- ・ 中国古代に生まれた七宝焼を、一冊の本と一枚の皿からよみがえらせた梶常吉の思いを考えることを通して、目標に向けて最後まであきらめずに粘り強くやり遂げようとする気持ちを育てる。

(2) 準 備

七宝焼、場面絵、センテンスカード、ホワイトボード、ワークシート、カード、ネームプレート、紙コップ(2色)

(3) 指導過程

| 区分 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点・支援 |
|---|---|---|
| 方向 づ け る | 3分 1 七宝焼を見て、知っていることを話し合う。 ・ 梶常吉が作った。 ・ 林庄五郎が広めた。 ・ 中は銅板になっている。 | ・ 社会科の学習や七宝焼き体験を想起させる。 ・ 実物の七宝焼きを見せ、七宝焼きの歴史について補足をする。 |
| 価値 の 追 究 把 握 ・ 自 己 の 生 き 方 の 実 感 | 37分 2 本資料を聞き、話し合う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">もしあなたが常吉なら、どうしますか。</div> (1) 自分の考えをワークシートに書く。 【A】研究を続ける。 【B】家業をがんばる。 (2) 自分の考えがどの意見に属するか、黒板の心情メーターにネームプレートを貼り、紙コップで意思を表す。 (3) 考えを発表する。 【A】研究を続ける。 ① あきらめたくない。 ② 松岡屋の主人や父との約束がある。 ③ 地域の発展のために頑張りたい。 【B】家業をがんばる。 ① 生活が苦しい。 ② 家族にも迷惑をかける。 ③ もう何年もがんばったからいい。 (4) 出た意見について話し合う。 【A】「研究を続ける」について 【B】「家業をがんばる」について | ・ 主人公の様子が視覚的に分かるように、場面の絵やセンテンスカードを提示する。 ・ 資料に興味をもつことができるように教師が読み語りをする。 ・ 資料の内容を正確に掴ませるために、補足しながら読む。 〔支〕意見がまとまらない児童には、物語の要点を確認するなどし、考えがまとめられるように支援する。 ・ 自分の立場を明確にして話し合いに参加できるようにする。 ・ 児童の発言は、児童とともに板書で分類しながら整理する。 【教師の切り返し発問】 〔A〕の意見に対する切り返し発問 ● 成功するかわからないのに何年もがんばれるの。 ● 家のことより、松岡屋の主人の約束が大切ですか。 ● 七宝焼が地域のためになるのかな。 〔B〕の意見に対する切り返し発問 ● 七宝焼が完成したら、生活も楽になるよ。 ● 迷惑をかけてでもやりたいんじゃないの。 ● そんな簡単にあきらめていいの。 ・ 切り返し発問によって、 ① 苦しさに負けない気持ちや自分を信じる心 ② 周りの人の期待に応えようとする考え ③ 地域の発展につながるという思い等に気付かせるようにする。 |

| | | | |
|-----|----|---|---|
| | | <p>(5) 今の自分の考えが心情メーターのどこにあたるかワークシートに記入し、紙コップで意思を表す。</p> <p>3 資料の続きを聞く。 (1) 七宝焼きを完成させた常吉は、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>(2) 目標に向けて努力するには、どんな考えや気持ち大切です。グループで話し合い、カードに書きましょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 話し合いを通して、自分の考えが変わったり深まったりしたことを視覚的にわかるようにする。 目標を達成した常吉の達成感に共感させる。 ねらいとする道徳的価値を自覚させるために、グループで話し合った意見をカードに書かせ、黒板に貼る。 [支] 話し合いを振り返らせ、大切なことが何かをまとめられるように促す。 |
| まとめ | 5分 | 4 今日の学習で学んだことや、これからの生活に生かしていきたいことをワークシートに書きましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> 道徳的な実践意欲を高めるために、目標を達成するために大切にしたい考えを発表させる。 |

4 反省

5 ご高評

6 板書計画

